

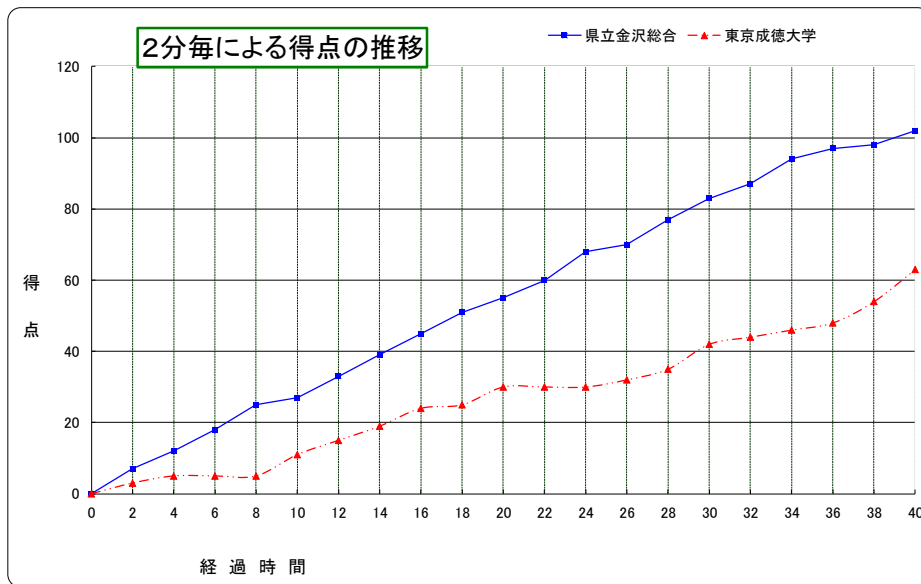
平成24年度第66回関東高等学校 女子バスケットボール選手権

平成24年6月9日(土)
さいたま市記念総合体育館
Aブロック第2回戦

チームA 県立 金沢総合 (神奈川)	102	{	<table border="0"> <tr><td>27</td><td>1st</td><td>11</td></tr> <tr><td>28</td><td>2nd</td><td>19</td></tr> <tr><td>28</td><td>3rd</td><td>12</td></tr> <tr><td>19</td><td>4th</td><td>21</td></tr> </table>	27	1st	11	28	2nd	19	28	3rd	12	19	4th	21	}	63	チームB 東京成徳大学 (東京)
27	1st	11																
28	2nd	19																
28	3rd	12																
19	4th	21																

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	荒木 千広	16	0	0	8	10	0	2	3	2	3	2	0	1	0
5	五十嵐 律美	19	3	3	5	7	0	0	2	0	5	3	0	2	0
6	仲鉢 咲	4	0	0	2	5	0	0	1	0	3	0	0	0	2
7	稲井 桃子	24	2	5	9	16	0	0	1	4	4	1	8	2	3
8	星澤 真	11	0	0	5	10	1	1	1	3	6	5	0	2	5
9	青木 美優	2	0	0	1	4	0	0	0	2	1	0	0	1	0
10	三上 夏侑	6	2	3	0	1	0	0	4	0	0	2	0	0	0
11	清田 陽香	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
12	木山 唯	2	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1
13	吉成 文	9	1	3	3	7	0	0	1	0	0	2	1	0	0
14	大沼 明日郁	1	0	0	0	1	1	2	2	0	0	2	0	0	0
15	八木澤 里奈	2	0	0	1	1	0	0	1	0	3	0	0	1	1
16	清田 瑞帆	2	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
17	大槻 美咲	2	0	0	1	2	0	0	1	1	1	0	0	1	1
18	今泉 真奈美	0	0	2	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	1
コーチ	清水 麻衣								0	3	0				0
		102	8	17	38	70	2	5	19	13	28	17	9	11	16
		確率	47.1%		54.3%		40.0%			計 41					

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	久岡 真歩子	9	2	4	1	13	1	2	1	2	1	4	3	0	7
5	中村 莉歩	4	1	2	0	4	1	4	0	3	1	2	2	1	2
6	月岡 英梨	2	0	0	1	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0
7	長谷川 沙希	8	0	0	4	10	0	2	1	4	2	1	1	1	1
8	笹尾 夏澄	0													
9	佐藤 綾乃	7	0	1	2	8	3	4	0	2	6	0	2	0	3
10	小室 敦美	10	0	2	4	4	2	4	0	2	1	1	0	0	1
11	種市 凧沙	0													
12	川井 麻衣	16	3	4	3	9	1	3	1	2	1	2	2	0	7
13	川崎 里奈	0													
14	田中 真実子	7	0	0	3	9	1	5	3	3	5	2	0	1	2
15	多久 文乃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
16	小澤 美咲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
17	太田見 萌	0													
18	横川 清香	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
コーチ	下坂 須美子								0	3	7				0
		63	6	13	18	60	9	24	7	18	19	13	11	3	26
		確率	46.2%		30.0%		37.5%			計 37					



戦評

第1P、両チームハーフコートマンツーマンディフェンスでのスタート。立ち上がりから金沢総合は、#4荒木のペイントエリアでの正確なオフェンスや、#7稲井の3Pなどで順調に得点を重ねる。対する東京成徳は、#4久岡、#7長谷川のシュートで応戦するもミスがやや目立ち、また、結果的に強引なシュートが多くなってしまふ。金沢総合のペースになり、点差も一気に広がってしまう。

第2P、両チームハーフコートマンツーマンディフェンスは変わらず。東京成徳は、パスが思うように交換できず、アウトサイドのシュートがやや単発になってしまう。逆に、金沢総合は、#4、#8星澤のインサイドを活かしたオフェンスと粘り強いディフェンスで試合の流れを完全に掴み、残り4分にはリードを20点に広げる。その後も、東京成徳は、#5中村の3Pシュートなどで対抗するものの、金沢総合のリズムを崩すにはいたらず、25点のビハインドをおって前半の終了を迎えてしまう。

第3P、両チームのディフェンスのかたちはかわらないものの、完全にゲームの主導権を握った金沢総合のディフェンスでの頑張りにより目立ちはじめる。5分過ぎには、メンバーを入れ替える。ミスが出始めたところをついて行きたい東京成徳だったが、自らも粘り強い相手ディフェンスからターンオーバーを繰り返してしまい、なかなか反撃の状況をつくりだせない。さらに、金沢総合は、相手に的を絞らせないオフェンスで、さらにリードを広げ、84対42とする。

第4P、メンバーは、バックアップメンバー中心となったものの、金沢総合のマンツーマンディフェンスは良く機能し、完全に高さではミスマッチの状況になってしまっている東京成徳に思うようにオフェンスをさせない。決定力のある攻撃も#13吉成のシュート、ドライブインなどがさえ、着実に得点を加えていく。1試合を通じて、また、メンバーが変わっても粘り強いマンツーマンディフェンスを貫き、相手を良くおさえ、正確なシュート力と合わせて東京成徳の良さを封じ込めた金沢総合が圧倒した。

主審	渡邊 整	副審	三好 啓太	記入者	長原 康
----	------	----	-------	-----	------